

タウン・ミーティング

(市長と市民の集い)

皆さんの市政に対する生の声を聞き、「市民参加のまちづくり」を進めるために開催している、タウン・ミーティング。

今回は5月20日開催分の概要についてお知らせします。

市民約60人が参加した5月20日のタウン・ミーティング。市長から「新年度予算とその具体的施策」および「空港の完全化への取り組みについて」の説明があり、その後市民と市長との間で、さまざまな意見交換が行われました。

「コミ」ではその一部について紹介します。



市長が直接お答えします

防犯について

市民 ウイング土屋地区で通り魔事件があった。ぜひ、ウイング土屋地区に交番を作ってほしい。

市長 抑止力という点では、交番が有効であると思いますので関係機関に話をします。

市民 近所で1カ月ほど前に空き巣があった。このようなときは情報を地域へ迅速に流してほしい。

市長 警察を含めそれぞれの立場で速やかな対応ができるように考えていきたいと思います。

コミュニティバスについて

市民 新妻方面は4月からバスが走らなくなったが、これについての市の考えは、

市長 三里塚と大室・小泉方面は4月からコミュニティバスがスタートしましたが、そのスタート直前に新妻方面が廃止になったと聞きました。

次の段階で、この方面にコミュニティバスを走らせようと検討しています。

空港について

市民 空港問題は今まで全然進展がない。このままでは、いつか空港は羽田に帰ってしまうのでは。空港を失ったときに、かなりのダメージがあると思うが、羽田へ空港機能が移転するのを市として、どのように食い止められるのか。

市長 成田空港も首都圏の一角の空港であり、成田としての役割は消え失せることはないと感じています。

ただし、羽田が2009年に4本目の滑走路のオープンを予定しています。したがって、その前後が成田にとって一番大変な年になると思います。今、どうにか本来計画で着上できれば、羽田に対抗できることになります。

「成田がゼロになることは絶対

にない」と受け止めていただければ、幸いです。

情報の公開と個人情報について

市民 成田市には、成田市情報公開及び個人情報保護に関する条例が制定されているが、「公開」と「保護」の相反するものが一つの条例になっている。また、「行政機関が保有する個人情報の保護に関する法律」と現在の成田市の条例では、その内容もだいぶ異なっている。条例を分割することと、その内容の見直しを検討してほしい。

市長 情報公開と個人情報保護が同じ条例になっていきますので、現在、この二つを分割することも含めて検討しています。

そのほか

市民 18年度に導入される指定管理者制度の概略を説明してほしい。

市長 体育館・文化会館などの施設は、市が外郭団体などに管理を委託しています。指定管理者制度は、18年度からその制度に基づいて施設管理に一般の団体の参入を認めるものです。

今年度は条例を整備して、体育館・文化会館、いずみ聖地公園や八富成田斎場などの施設は18年度から段階的に指定管理者制度が適用になります。

具体的になりましたら、広報などで周知します。

市民 老人福祉センターでサークル活動をしているが、このセンターを建て替える予定はあるか。

市長 大変古い建物です。カラオケなどの設備を整備しましたが、現在のところ、立て替える予定はありません。検討課題とさせていただきます。

次回のタウン・ミーティングは、次のとおり開催します。

日時：8月19日(金) 午前10時から
会場：市役所1階ロビー
テーマ：「新市のスタートとその取り組み」
「空港問題と観光の振興」
くわしくは市民支援課 ☎20-1507へ。